

# 小規模多機能ホーム日野

## 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【 令和 1 年度 】

事業所自己評価 . . . . . (事 1 ~ 9)

外部評価 (地域かかわりシート②) . . . . . (地 1 ~ 6)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表 . . (総 1 ~ 3)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 10日 (18:00 ~ 20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤 (藤田・佐藤・林・藤橋・長谷川・日野)  
非常勤 (長尾・鹿島・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	5人	12人 未記入2人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>プラン担当者が同行しやすいよう、自宅訪問はプラン担当者から早目にケアマネに声を掛け、日程の調整を行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>プラン担当者とケアマネと一緒に訪問できなかった。</li><li>担当者からケアマネに声を掛けることはなかった。声掛けが上手くできていない。</li><li>人員と日程調整に課題があると感じる。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	13	1	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	9	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>申し送りノートやミーティングを通じて利用者の情報が共有できている。</li><li>自分からコミュニケーションを取るよう心掛け、気持ちや意向を確認している。</li><li>利用開始して間もない方の分からない点は積極的にケアマネや他職員に聞き理解に努めている。</li><li>本人や家族等からよく話を聞き、希望だけではなく当事者が自覚できていない真のニーズを見つけ必要な支援ができるよう努力している。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>担当ケアマネは家族や介護者と接する機会が多いが、一般職員は直接話せる機会が少ない為、関係を築くところまでいかない場合がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>新規利用者のプラン担当は利用開始前に決定し、できるだけ最初からケアマネと一緒に関わられるようにする。</li><li>プラン担当者がケアマネと一緒に自宅訪問できるよう、早めに訪問日程を決め勤務調整を行う。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 10日 (18:00 ~ 20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤 (藤田・佐藤・林・藤橋・長谷川・日野)  
非常勤 (長尾・鹿島・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	5人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から～したいと希望を言えない人に対し聞こうとする姿勢を持つ。1対1の対応の時に本音が聞ける事が多いので、1対1の対応を持つよう意識して関わる。</li> <li>・レクの時等どのような事が得意で苦手なのか、どのような事に興味があるのか意識して観察し、気付いた事をスタッフで共有する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の対応を多く持つようにし、気持ちを引き出すよう努力した。</li> <li>・日常の支援の中で「こんな事ができていた」という気付きを共有している。</li> <li>・本人が今したい事は分かっていても、「最終的にどうしたいのか、目標は何か」等あまり把握できていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	8	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	8	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助時や移動時にご本人の好きな事などを聞く等、積極的に関わるように心がけている。</li> <li>・申し送りやミーティングで得た情報は次に生かすように対応している。</li> <li>・本人の「～したい」(例えば「帰りたい」)を否定せず、話を聞いたりどうしたら良いのか一緒に考えるようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラン担当している利用者以外の方のやりたい事、目標が把握できていない事がある。</li> <li>・本人の目標について利用者1人1人を会議で取り上げ、話し合い探っていく事が不足しているのではないか。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者へ行った支援や関わり等について会議で話し合う機会を増やし、振り返る事でその人の気持ちや希望に沿った支援、目標を見つけていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 10日 (18:00 ~ 20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤 (藤田・佐藤・林・藤橋・長谷川・日野)  
非常勤 (長尾・鹿島・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	4人	13人 未記入1人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で次回取り上げる利用者をあらかじめ決めておく。プラン担当者はそれまでに本人・家族と話す機会を持ち気持ちや希望を聞いておく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議の日程を把握して、事前に段取りを組むことができていない。</li> <li>・プラン更新の方を取り上げて検討しようということになっていたが、意識が低く会議で検討する事が少なかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	11	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	5	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	12	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りや個別記録、関わったスタッフから情報収集するように努めている。</li> <li>・利用者の状態に合わせ、その都度柔軟に対応できている。</li> <li>・利用者との関わりの中で、本人の訴えや気付きから必要に応じて家族と連絡をとり、プラン変更や受診援助等に繋げている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者によって本人の事をよく分かっている、分かっている差がある。</li> <li>・言葉や行動になっていない思いについて、どこまで理解できているか分からない。</li> <li>・訪問が多く外へ出ている職員が多い為、対複数の対応が多くなりがちで、個別にゆっくり話を聞く事があまりできていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人の利用者に関わる時間を増やし、その中で知り得た本人の気持ちや希望等の情報を職員全員で共有する。</li> <li>・アセスメント・情報の更新は新たな情報がすぐ反映されるよう随時取り組んでいく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 10日 (18:00 ~ 20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤 (藤田・佐藤・林・藤橋・長谷川・日野)  
非常勤 (長尾・鹿島・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	7人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が居住している地域の行事などの情報を集める。利用者が地域で以前のように暮らしを楽しめるよう、どのように支援するのか会議で話し合っていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の体操やサロンへの参加援助やよく行く店とのやり取りは以前よりできている。</li> <li>・地域行事へはできるだけ参加する方向で、話し合いをしている。</li> <li>・地域でどのように暮らしてきたか、これからどのように暮らしたいと考えているかが十分に把握できていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	5	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	5	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	9	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	7	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント表の確認や本人との会話・交流の中でこれまでの過ごし方等を知るようにしている。</li> <li>・事業所で全て行うのではなく、家族に協力してもらえる事は適切に対応していただき、本人と家族との関係を良好に維持できるよう配慮している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日以外の過ごし方を本人から聞く事はあるが、実際はどうなのか確信が持てない。</li> <li>・地域でどのように暮らしてきたか、これからどのように暮らしたいと考えているか、十分に把握できていない。</li> <li>・利用者が家族や自宅での生活を1番にして欲しいが、デイサービスを中心とした生活になってしまっているところがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や催し物を行う時は、当日通所日では無い利用者も希望する方は臨時利用できるようにする。</li> <li>・地域との関係を大切にす為、広報誌等を活用して地域行事・催し物の情報を集め、できるだけ多く参加できるように検討する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 10日 (18:00 ~ 20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤 (藤田・佐藤・林・藤橋・長谷川・日野)  
非常勤 (長尾・鹿島・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	1人	13人 未記入1人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族の必要性に応じ、利用者・家族同士譲り合いしていただき、緊急性が高い方が利用できるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通い」「宿泊」「訪問」は希望と必要性を合わせ、場合によってはスタッフの勤務調整を行いながら柔軟に対応できるよう努めている。</li> <li>・譲り合いという面では利用者によってバラつきがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	10	4	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	2	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	12	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	13	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな事でもいつもと違う様子があれば、申し送りや記録に残してその人に合わせた支援ができるように意識している。</li> <li>・「通い」「宿泊」「訪問」は希望と必要性を合わせ、場合によってはスタッフの勤務調整を行いながら柔軟に対応できるよう努めている。</li> <li>・本人の状態に合わせて柔軟に支援できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のニーズに合わせてというよりも家族のニーズに合わせて提供している部分が多い。</li> <li>・事業所だけで支えようとしていないが、地域資源の理解が不足し事業所での割合が大きい。</li> <li>・本人のニーズと「希望・要望」が相反する場合があります、支援に迷ってしまう事がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン評価シートの検討について、サインのみで判断せず会議の時にも取り上げて検討を行う。</li> <li>・家族ができる事は家族にも理解・協力してもらい、利用者にとって必要な支援を見極めていく。</li> <li>・本人の状態や気持ち・ニーズ等を会議で見直しをする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 22日 (18:00 ~ 20:00)

6. 連携・協働

メンバー 常勤 (藤田・村山・林・藤橋・長谷川・日野)・  
非常勤 (長尾・鹿島・柴田・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	3人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に参加する機会を持つ。職員が交代で参加する。</li> <li>・サービス担当者会議の日時を早めに調整し、プラン担当者も参加できるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の会議は職員が交代で参加している。年度半ばでまだ全員は参加できていない為、未達成の職員は今後参加する予定。</li> <li>・サービス担当者会議は一度に職員2名が業務から抜ける事が難しく、プラン担当者がほとんど参加できていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	3	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	4	8	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	4	4	6	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	5	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な会議に職員が交代で参加している。年度末までには常勤職員全員が出席できる予定。</li> <li>・幼稚園の行事に参加したり、利用者様のつながりなどでボランティアにも来てもらっている。</li> <li>・利用者が地域の集いに参加する事を支援しており、送り迎え時に地域の方と話しをするようにして関係を築く努力をしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によっては勤務形態などにより自治体・地域包括など外部との会議に参加できていない。</li> <li>・業務が優先になり、サービス担当者会議にプラン担当者がケアマネと一緒に参加する事は難しかった。</li> <li>・地域団体などの活動への参加が少なく、施設として外部との関りが薄い。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議は、ご家族様が可能な場合は更新2か月前から日程を相談し、ケアマネとプラン担当者の2名が出席できるよう勤務を組む。</li> <li>・運営推進会議など年間予定が決まっている会議は、予め参加する職員を決めておく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 22日 (18:00 ~ 20:00)

7. 運営

メンバー 常勤 (藤田・村山・林・藤橋・長谷川・日野)・  
非常勤 (長尾・鹿島・柴田・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	3人	12人 未記入2人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所から一番近い第1日野万地域との関係が築けるよう、近所の自治会員に協働の方向を働きかける。</li> <li>・会議では職員全員が1回は必ず発言する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1日野万に限定せず、利用者が地域の集いに参加できるよう働きかけや支援を行った。</li> <li>・会議にはなるべく参加するようにし、自分の意見やその場で思った事を伝えようと意識している。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	7	5	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	4	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	6	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	10	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族などからの意見や苦情があれば迅速に対応、会議で話し合い支援に生かそうと努力している。</li> <li>・会議では全員が1回は発言するようにしている。</li> <li>・クレームがあれば迅速に対応している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のあり方についての話し合いや地域と協働した取組みが足りない。</li> <li>・地域との交流が少なく、何を必要とされているのか、何ができるか分からない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議では職員全員がひとり1回は必ず発言する。</li> <li>・地域との関りが持てる行事や会議、また利用者が参加している地域の催し物への送迎等、地域住民と関係作りができる機会に全員が関わられるようにする。参加していない職員は自らリーダーに申し出て、積極的に関わる機会を持つ。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 22日 (18:00 ~ 20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤 (藤田・村山・林・藤橋・長谷川・日野)・  
非常勤 (長尾・鹿島・柴田・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	5人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤職員は東京都主催の実務者研修に出来るだけ全員が参加できるようにする。</li> <li>利用者支援に必要な知識がタイムリーに身に付けられるよう、内部研修を充実させる。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部会議へ年1回全員参加を義務付けているが、勤務時間外になる事が多い為自ら積極的に参加する事が少ない。実務者研修には参加できていない。</li> <li>全体会議・回覧などで職員に外部・内部研修への参加を呼びかけたが、個人的に勧める事は少なかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	3	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	7	4	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部・内部研修は年1回必ず参加するよう心掛けている。</li> <li>利用者の行動を制限しないで、事故のリスクを回避できるよう方法を検討し支援している。</li> <li>リスクマネジメントは申し送りや会議で話し合い、共有し対応を検討している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の自発的な研修参加が少ない。</li> <li>地域の連絡会には職員全員は参加できていない。</li> <li>リスクマネジメントは単純ミスがなかなか減らない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットは職員全員が全ての報告書に目を通し確認する。(チェック欄を設け確認を把握する) 同じようなミスが減らす為、気になるヒヤリは会議で取り上げ深く掘り下げて検討する。</li> <li>外部研修・内部研修は全員で共有できるよう、参加した職員が資料を用意し全員に配布する。特にためになる研修は伝達講習を行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 8月 22日 (18:00 ~ 20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤 (藤田・村山・林・藤橋・長谷川・日野)・非常勤 (長尾・鹿島・柴田・田辺)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	2人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報載っている書類や記録の整理方法を工夫し、管理しやすくする。</li> <li>・ どんなに忙しい時も記録や個人情報など、職員が席を離れる時は必ず目に触れないように注意する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書類や記録の整理方法などミーティングで意見を出し合い常に改善し、管理しやすくなった。書類整理は継続が必要でまだ改善の余地がある。</li> <li>・ 急いで席を立つ時に記録などをそのままにして離れる事はあったが、以前に比べ職員は意識するようになり改善している。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	3	11	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	3	6	12 未記入 2
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	11	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体拘束や虐待に対する職員の意識が高く、一切行っていない。</li> <li>・ プライバシー・個人情報に対して意識して行動している。</li> <li>・ 個人情報に常に注意し、利用者の目や耳に入らないよう意識して行動している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライバシーを配慮してできるだけ小さな声で声掛けしても周囲に聞こえている事がある。利用者により理解度が違うので、職員の声掛けの一部を聞いて、他の利用者に誤解されるのではないか心配な事がある。</li> <li>・ 成年後見制度については該当者がいない為活用していない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書類や記録の形式・整理方法などミーティングで意見を出し合い、継続して改善していく。</li> <li>・ 利用者への声かけは周囲に配慮し、常にどうしたらよいか最善を考えて行う。良い結果が出た時は会議で話し合い職員全員で共有する。</li> </ul>	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4	0	2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3	0	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2	0	4

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

○職員全員が自己評価にしっかりと取り組んでいた。(1、2)

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

○考えた改善計画に対して、改善しているところもあればまだ不十分なところもある。(3)

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

○事業所自己評価の回答から毎年改善している事がうかがえる。(3、4)

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

○常勤・非常勤の職員全員が自己評価の記入欄に記載があり、しっかりと取り組んでいたと思う。

【改善計画】※後日記入

○改善が不十分な箇所については職員一人一人がしっかり意識をして改善して行く。できるだけ多くの職員が事業所自己評価に取り組んでいる姿勢が理解できるようにする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	0	0	6
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	1	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2	0	4
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	0	0	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>○事業所内での運営推進会議開催は今回行わなかったが、事業所内での利用者の活動等の様子を収めた写真を掲示して見てもらった。(0)</p> <p>○敬老会に家族も参加した。(0)</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>○年に1回は運営推進会議等を3Fで実施する。家族を招待できるような機会を作り普段の様子を知っていただく。</p> <p>○事業所の周辺の地域の方に気軽に立ち寄ってもらえる環境をつくる。</p>
<p>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</p> <p>○運営推進会議も含め、家族が気軽に事業所に来てもらえるようにしていきたい。</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>○家族や地域住民の方にも気軽に立ち寄ってもらえるような事業所の環境にする。</p> <p>○運営推進会議に多くの家族に参加してもらえるように情報提供を行う。</p>

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	5	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1	0	5
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域で開催された花火大会に利用者と一緒に見に行った。(0、4)
- 利用者の知り合いがいる大正琴のボランティアを招き、定期的に事業所内で開催している。(0)

【前回の改善計画】

- 様々な機会に参加して事業所の事を知ってもらえる機会を増やす。
- 継続してイベントに参加できる機会をつくる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 以前、外出行事にて地域内にある場所を選んだ利用者が大半の時があり、今回も同じ場所に行ったが楽しんでいた。
- 定期的に来るボランティアを楽しみにしている。

【改善計画】※後日記入

- 地域の方に事業所を知ってもらうために、近隣の施設、住民の方に協力して、ホーム日野を知ってもらえる様に活動する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	0	4
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	0	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

○家族や民生委員・近所の方と連携を図り、住み慣れた地域で利用者が生活を続けて行けるように支援している。(0、3)

---

【前回の改善計画】

○地域のイベント等の情報が少ないため、地域の情報をしっかり収集する。参加できる内容があれば、積極的に参加できる状況をつくる。  
 ○利用者の住んでいる地域の方にも運営推進会議やイベントなどへ招待する機会をつくる。

---

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

○運営推進会議には出ているが、普段の利用者の生活の様子や職員の働き方を分からない中で評価するのは負担に感じる。(2)

---

【改善計画】※後日記入

○新しく運営推進会議に参加して頂ける人材を探す。

○地域のイベント情報をしっかり収集して参加できる機会をつくる。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配な方等の事例検討が行われていますか？	1	0	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	2	0	4
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 運営推進会議に参加する家族は少なく、家族と話す機会は相談がある時等に限られてしまっている。(0)
- 職員は交代しながら運営推進会議に参加できている。(0)

【前回の改善計画】

- 運営推進会議にできるだけ多くの方が参加できるように日程、時間を検討する。
- 運営推進会議の内容を出席していない職員にも伝達して、改善できるようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- 会議等で家族から意見をもらう機会は少ないが、アンケートの回答率は前回より増えた。

【改善計画】※後日記入

- 運営推進会議に出席できる家族を増やし、家族の意見を職員に伝える。
- 運営推進会議の意見を積極的に改善につなげる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	0	0	6
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	0	1	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	0	6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	4	2
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 昨年度と同様に隣接するシルバービレッジと合同で防災訓練を実施した。(0、2、3)
- 今後災害にどう対応していくか康明会全体で話し合い、勤務可能な職員のグループ分けをした。(0)
- 備蓄飲料水としてウォーターサーバーを導入したが、食料品は再確認して備蓄していく必要がある。(0)

【前回の改善計画】

- 地域の防災訓練等にも参加できる機会をつくる。
- 備蓄品の確認、補充をする。
- 独自の防災訓練を検討していく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- 災害等が起こった時、他の施設等に宿泊依頼や調整はどう考えているのか。(4)
- 普段から緊急時に受け入れが可能な施設か考えていく事が大切だと思った。

【改善計画】※後日記入

- 災害時に必要な食糧、水等を必要量備蓄する。
- 自施設でも避難訓練を実施する。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団康明会	代表者	遠藤 正樹	法人・事業所の特徴	法人は「地域を支え地域に支えられる医療と介護」を理念に地域に根差した医療・介護の多種に渡るサービスを展開しています。小規模多機能ホーム日野は利用者様が住み慣れた地域に長く住み続けられるよう、利用者様・ご家族様の暮らしを支えるお手伝いをします。自宅のように寛げる家庭的な雰囲気を大切に、地域で充実した生活が送れるよう一人ひとりに合わせた過ごし方を工夫し、個別対応を基本としています。健康管理にも力を入れています。
事業所名	小規模多機能ホーム日野	管理者	藤田 努		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	2人	0人	0人	1人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○利用者・ご家族・地域の方から信頼を得られるよう、事業所で考えた改善計画に沿って向上を目指し誠実に努力していく。	○考えた改善計画に対して、改善しているところもあればまだ不十分なところもある。	○事業所自己評価の回答から毎年改善している事がうかがえる。	○改善が不十分な箇所については職員一人一人がしっかり意識をして改善して行く。 ○できるだけ多くの職員が事業所自己評価に取り組んでいる姿勢が理解できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	○1年に1度以上は運営推進会議を事業所内で行い、日常の生活をどのように過ごしているか知ってもらう。行事に家族も参加できる機会をつくる。(クリスマス会など)	○事業所内での運営推進会議開催は今回行わなかったが、事業所内での利用者の活動等の様子を収めた写真を掲示して見てもらった。 ○敬老会に家族も参加した。	○運営推進会議も含め、家族が気軽に事業所に来てもらえるようにしていきたい。	○家族や地域住民の方にも気軽に立ち寄ってもらえるような事業所の環境にする。 ○運営推進会議に多くの家族に参加してもらえるように情報提供を行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のイベントの情報収集をしっかりと行う。利用者様、職員と一緒に参加できる機会があれば積極的に参加していく。</li> <li>○外へ出かけることに固執せず、地域の方がこちらに来所できるような仕掛けを検討する。</li> <li>○自治会等、地域での活動を実施している箇所の情報を収集して、一緒に活動できる場所を見出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で開催された花火大会に利用者と一緒に見に行った。</li> <li>○利用者の知り合いがいる大正琴のボランティアを招き、定期的に事業所内で開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以前、外出行事にて地域内にある場所を選んだ利用者が大半の時があり、今回も同じ場所に行ったが楽しんでいた。</li> <li>○定期的に来るボランティアを楽しみにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方に事業所を知ってもらう為に、近隣の施設、住民の方に協力してホーム日野を知ってもらえる様に活動する。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域でサポートが必要な方に関して、該当する方がいる時は相談して適宜対応していく。地域との関係性や本人の経緯を考慮して必要な支援を検討し、協力して頂く。</li> <li>○利用者様の生活してきた環境を理解して地域との関係性を継続できるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や民生委員・近所の方と連携を図り、住み慣れた地域で利用者が生活を続けて行けるように支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議には出ているが、普段の利用者の生活の様子や職員の働き方を分からない中で評価するのは負担に感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しく運営推進会議に参加して頂ける人材を探す。</li> <li>○地域のイベント情報をしっかりと収集して参加できる機会をつくる。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族が運営推進会議に参加しやすいよう開催日を参加しやすい曜日に変更する。</li> <li>○事前に日程を調整して可能な限り多くの職員が参加できるように調整する。職員全体で家族や地域資源と関わる機会を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議に参加する家族は少なく、家族と話す機会は相談がある時等に限られてしまっている。</li> <li>○職員は交代しながら運営推進会議に参加できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議等で家族から意見をもらう機会は少ないが、アンケートの回答率は前回より増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議に出席できる家族を増やし、家族の意見を職員に伝える。</li> <li>○運営推進会議の意見を積極的に改善につなげる。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災計画の見直しを行い、運営推進会議で利用者・家族へ災害時の対策について説明を行う。</li> <li>○防災備蓄品などのリストの見直しと補充・整備を行う。</li> <li>○防災について日野市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会で連携の方法について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○隣接するシルバービレッジと合同で防災訓練を実施した。</li> <li>○今後災害にどう対応していくか康明会全体で話し合い、勤務可能な職員のグループ分けをした。</li> <li>○備蓄飲料水としてウォーターサーバーを導入したが、食料品は再確認して備蓄していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害等が起こった時、他の施設等に宿泊依頼や調整はどう考えているのか。</li> <li>○普段から緊急時に受け入れが可能な施設か考えていく事が大切だと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に必要な食糧、水等を必要量備蓄する。</li> <li>○自施設でも避難訓練を実施する。</li> </ul>